

2023年10月6日

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ

『札幌ダイビル再開発プロジェクト』に  
TRUNK(HOTEL)ブランドの5店舗目が出店決定  
～客室100室超のTRUNK(HOTEL) SAPPOROが2027年春開業～

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ（本社：東京都品川区 代表取締役社長：岩瀬賢治）は、ダイビル株式会社（本社：大阪市北区 代表取締役社長執行役員：丸山卓）が進める『札幌ダイビル再開発プロジェクト』に「TRUNK(HOTEL) SAPPORO（仮称）」の出店が決定したことをお知らせいたします。TRUNK(HOTEL)ブランドとしては5店舗目の発表となり、開業は2027年春を予定しています。



(客室イメージ)

『札幌ダイビル再開発プロジェクト』は、ダイビル株式会社が札幌市民から長らく親しまれてきた「PIVOT」を取得し、ビジネスと商業エリアが混ざり合う“大通地区“という立地ポテンシャルを最大限に生かしたオフィス・ホテル・商業店舗によるミクストユース型の施設です。渋谷・神宮前で当社が展開するソーシャライジングをコンセプトとしたブティックホテル「TRUNK(HOTEL) CAT STREET」での実績などを評価いただき、10階～18階の本プロジェクト内ホテルフロアへの出店が決定いたしました。

## ■ホテル概要

札幌の中心地“大通地区“に誕生する、ライフスタイル感度の高い大人をターゲットにした、客室 100 室超のラグジュアリーブティックホテルです。陽の光が差し込む開放的なアトリウムにあるカフェ&バーラウンジ、非日常の空間で高揚感と癒しを満喫できるスパ、北海道産の食材を楽しめるレストラン、シアタールームやバンケットなどを備え、札幌の新しいデスティネーションを目指します。

名 称 : TRUNK(HOTEL) SAPPORO (仮称)

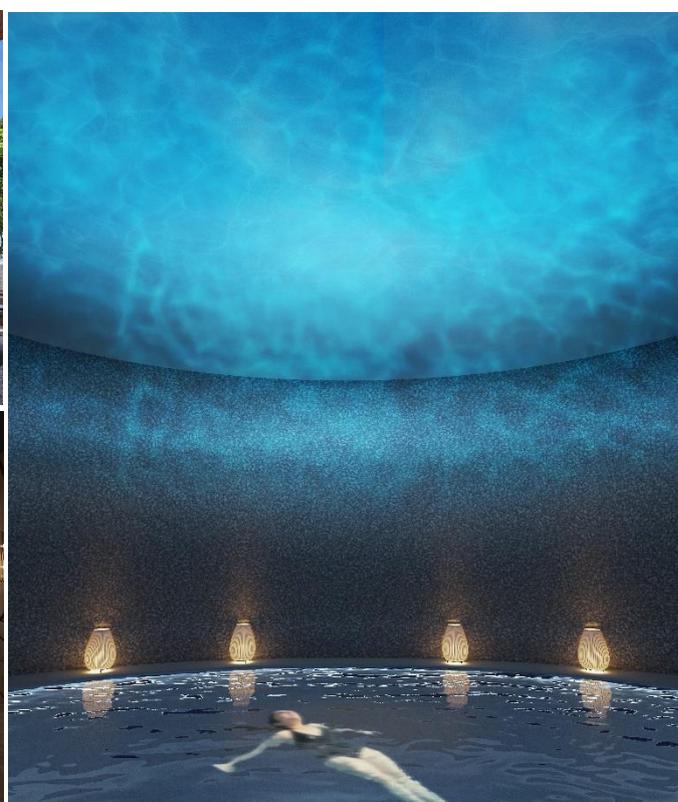
所 在 地 : 札幌市中央区南 2 条 4 丁目

客 室 数 : 100~110 室

共用施設 : カフェ&バーラウンジ、オールデーダイニング、スペシャリティレストラン、シアタールーム、ボードルーム、スパ、ジム、チャペル、バンケット

想定客室単価 : 60,000 円~600,000 円

開業予定 : 2027 年春



(左上：カフェ&バーラウンジイメージ、左下：シアタールームイメージ、右：スパイメージ)

※施設概要やイメージは現時点のもので、今後変更となる可能性があります。

## ■出店予定ホテル一覧

TRUNK(HOTEL) DOGENZAKA (仮称) : 2027 年 3 月頃開業予定

TRUNK(HOTEL) SAPPORO (仮称) : 2027 年春頃開業予定

TRUNK(HOTEL) KOBE (仮称) : 2028 年春開業予定

### 【お問い合わせ先】

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 広報

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-3-12 シーフォートスクエアセンタービル 17F

TEL : 03-3471-6824 MAIL : pr@tgn.co.jp URL : <https://www.tgn.co.jp/>

# T&Gの直営店・提携店（2023年10月現在）



## ■直営ホテル

TRUNK(HOTEL) (神宮前) / TRUNK(HOUSE) (神楽坂)  
 TRUNK(HOTEL) YOYOGI PARK (富ヶ谷) / アルモニーアンブラッセ (大阪)

## ■直営レストラン

Pie Holic (横浜) / GENTLE (表参道)

## ■直営ドレスショップ

MIRROR MIRROR (表参道 / 丸の内 / 横浜 / 千葉)  
 Dressmore (京都 / 大阪 / 梅田 / 神戸 / 姫路)

## 【業務提携】

### ■提携レストラン及び会場

東京會館 (丸の内) / REIMS YANAGIDATE (表参道) / TERAKOYA (武蔵野)  
 SUD Restaurant TERAKOYA (竹芝) / T-LOTUS M (天王洲アイランド) / Harmonie agréable (表参道)  
 グランドパーク小樽 (小樽) / リーガロイヤルホテル小倉 (小倉) / リーガロイヤルホテル広島 (広島)  
 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル (横浜) / ハレクラニホテル沖縄 (沖縄)

## 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ

1998年創業。企業理念は「人の心を、人生を豊かにする」。婚礼市場において「一顧客一担当制」「一軒家貸し切り」が魅力のハウスウェディングのパイオニアであり、婚礼で培ったホスピタリティを礎に、ホテル事業を展開開始。日本にブティックホテル市場を創るという新たな戦略を柱とし、経営基盤の強化と資本効率改善による企業価値向上に取り組んでいる。